

## 代表質問

7会派の代表が行った質問の中から、いくつかを取り上げて要旨を掲載

## 共産党



岡山コンベンションセンターで開催された合同面接会

知している。平成25年度は、正社員を募集する地元中小企業等と若年求職者が参加する合同就職面接会を開催し、28社186人が参加した。今後も労働局、ハローワーク等と連携し、正規雇用につながる対策に努めたい。

## 国民健康保険財政の健全化

**問** 保険料の値上げを検討するとの報道があるが、一般会計からの繰り入れにより現在の保険制度を維持すべきでは。

**答** 平成28年度には収支不足が約60億円に拡大する見込みの本市の国民健康保険にとっては、

給付と負担のバランスを取ることが喫緊の課題であり、一般会計からの政策繰り入れを際限なく行うことは困難である。このため、26年度から28年度までを計画期間とする岡山市国民健康保険財政健全化計画案で26年度を集中改革取組期間とし、医療費の適正化や収納率の向上を推進し、約2億5,000万円の収支改善に努めるとともに、計画期間中に保険料率の改定を行い、財政の安定化を図りたい。

## 潜在保育士の支援策

**問** 就職のための具体的な支援策は。

**答** 「保育士・保育所支援センター」を開設し、市内の認可保育所の求人情報の提供、就職相談、就職のための研修や保育所の職場体験等の支援を行う。

## 雇用の安定化を促進

**問** 非正規社員の正規化を図るべきでは。

**答** 国が、非正規雇用から正規雇用への転換、人材育成、処遇改善などの取り組みを実施した事業主に対し助成するキャリアアップ助成金について、本市ホームページや中小企業向けの施策ガイドブック等へ掲載し、周

## 自由民主党岡山市議団・無所属の会

## 予算編成過程の見える化

**問** 平成26年度以降の具体的な方針は。

**答** 25年度は、予算編成のプロセスの一つとして、試行的に、市長が重点的に査定した事業の一覧を示した。

27年度当初予算からの本格実施に向けて検討しており、予算編成方針を発表する時期までには、どのような形で実施していくか決めたい。

## 効率的、効果的な組織づくり

**問** ①平成26年度に重視した分野やポイントは。②27年度に向け、組織や機構を見直す考えはあるか。

**答** ①市民の生命・財産にかかわる危機管理の統括機能強化のほか、女性が輝くまちづくり推進課、スポーツ誘致推進室、街中にぎわい推進室など、機能が分かりやすく、施策にふさわしい名称としている。

②本庁、区役所の各組織が持つべき機能と市民の意向を踏まえ、適切かつ大胆な改編を行い、効率的、効果的な組織づくりを進めたい。

## 歩いて楽しいまちづくり

**問** 県庁通り、西川緑道公園筋で行う社会実験の進め方と成果の検証方法は。

**答** イオンモール岡山からの回

遊の起点となる県庁通りと西川緑道公園筋での社会実験は、相乗効果を狙い同時に実施するよう検討している。沿道商業者、町内会、公共交通事業者、警察などと連携し、現地で活動している各種団体等から、にぎわい創出に効果的な演出についての



社会実験が行われる西川緑道公園筋

## 用語解説 ※2 【潜在保育士】

保育士資格を持っているが、保育所に勤務していない人

## 【注】社会実験

県庁通りを2車線から1車線に制限し、オープンカフェ等の演出を実施する「県庁通りまち歩き社会実験事業」、桃太郎大通りから県庁通りまでの西川緑道公園筋の車両を通行止めにする「西川緑道公園筋フリーウォーク社会実験事業」を実施し、にぎわい創出の効果を検証する

アイデアをもらいながら取り組み、来訪者へのアンケートで効果を検証したい。

**すべての女性が活躍できる社会へ**

**問** 女性が輝くまちづくり事業で、どのような調査研究を行うのか。また、成果はどのように生かすのか。

**答** 人生の各ステージで女性が活躍できる環境をつくることにより、女性の潜在力を開花させ、男女が共に暮らしやすい社会の実現を目指している。

平成26年度の新規事業として、女性の活躍促進に向けた取り組み状況について市内の企業にアンケート調査を行い、岡山商工会議所や岡山大学と連携し、企業における女性の活躍の状況・

課題などを把握・分析することで、女性の活躍促進に向けた実効的な施策を見いだしていきたい。

**家庭教育の重要性を保護者へ啓発**

**問** 家庭教育支援の充実に、行政がどのようにかかわっていくのか。

**答** 家庭で特に心掛けることなどを紹介するパンフレットの作成・配布や、親として家庭での教育にどのように取り組むかを具体的に教える「家庭教育アドバイザー」を地域やPTAの集まりに派遣する支援等を考えている。

今後とも、地域、学校園、企業など社会全体で家庭教育を支えることができるよう意識の醸

成を進めていく。

**(仮称) 地域ケア総合推進センターを市役所にプレオープン**

**問** 概要と期待される効果は。

**答** センターは、市民が予防、診療から介護まで切れ目のないサービスを受けることができる保健、医療、福祉連携機能を担う窓口として、在宅の不安や悩み、認知症の相談や支援、かかりつけ医の紹介などの情報提供機能に加え、関係機関のネットワークづくりの総合調整機能を備える。

平成26年度中に、新しい窓口が担う機能の周知を図るためプレオープンし、具体的な相談業務を行い、新市民病院での本格オープン時のスムーズな稼働を目指している。

**公明党**



路面電車の岡山駅前電停

**路面電車の岡山駅乗り入れ**

**問** 今後の進め方は。

**答** 駅前広場周辺の交通量調査、既存の地下街構造や地下埋設物の調査などを行い、道路交通への影響、駅前広場の交通処理、地下構造物への影響、事業費などを明らかにした複数の乗り入れ計画素案を作成する。

平成26年度前半に、学識経験

者、交通事業者、警察、利用者代表等による協議の場をつくり、複数の素案を比較検討し、年度末をめどに最終的な計画案を取りまとめたい。

**独自の取り組みで認知症に対応**

**問** 平成26年3月に策定する岡山市版オレンジプランについて、本市独自の取り組みは。

**答** 6つの地域包括支援センターに認知症支援チームを設置、地域での見守りや支援を行う「認知症サポートリーダー」の養成、専門職によるサテライト相談や介護教室の機能を併設した認知症カフェの設置などを26年度から実施する。

**サイクルポートの新設等で利便性を向上**

**問** ももちゃり拡充の具体策は。

**答** 岡山駅東口側エリアにサイクルポートを8カ所程度新設し、ラックを130台分程度、自転車

を90台程度増やし、利便性を向上させる。イオンモール岡山の北側で道路に面した場所にサイクルポートを設置する了解を得ており、桃太郎大通りのビックカメラ前、表町三丁目や京橋付近の候補地については、今後、施設所有者等と協議し決定する。

また、市役所前と県立図書館前のサイクルポートには、ラックを増設する。

**サイト公開で認知度アップ**

**問** 市民の認知度が低いNPO法人等について、情報発信や見える化が必要では。

**答** 本市では300以上のNPO法人がさまざまな分野で活動しているが、平成25年度の市民意識調査によると、NPO活動に参加している市民は、わずか1.1%であった。

そのため、26年3月に「おokayama NPO・ボランティアサイト つながる協働ひろば」を一般公開し、NPO法人やボラン

ティア団体等の情報を官民双方から発信し、活動の交流ができ

るサイトとしていく。26年度以降も生きた情報を随時追加し、

NPO法人等の認知度を上げていきたい。

## 新風会

### 商店街活性化に専門家の支援を

**問** 店主のモチベーションや商店街全体の協働意識の高揚を引き出すプロのコンサルタントが必要では。

**答** 商店街活性化には、消費者動向や商取引の現状、まちづくりに関する見識と経験を有する専門家によるサポートも必要と考えている。平成26年度に予定している商店街活性化支援事業で、商店街自らが活性化計画を策定するに当たり、必要に応じて外部専門家による支援施策を用意している。

### 小型家電リサイクル事業を開始

**問** 対象品目と回収形態は。

**答** 西部リサイクルプラザが本格稼働する平成27年1月に市有施設、電器店、ホームセンターなどの拠点や各種イベント会場での回収を開始する予定。

環境省の使用済小型電子機器

等の回収に係るガイドラインで指定されている携帯電話やデジタルカメラなど、特定対象品目とされる約70品目を回収対象にしたい。

### 落ち着いた学校環境づくり

**問** ストップ・ザ学校問題<sup>※3</sup>の予算の特徴と独自の取り組みは。

**答** 問題行動等の未然防止に一層力を入れたことが特徴である。独自の取り組みとして、教育相談室へ配置した2人の専門相談員が相談対応を行い、いじめ防止対策会議に参加し、心理の専門家としての助言を行う。また、市内全小・中学校の全児童・生徒を対象に学級生活の満足感を測る調査を行い、より良い学級集団をつくっていきたい。

### ESD世界会議へ向け 気運を醸成

**問** 今後の取り組みは。

**答** 各種会議の開催支援やおも

てなし等のため、平成26年度当初から、宿泊及びエクスカーション（視察旅行）の予約システムの構築、警備・救急体制の構築、ボランティアの研修など、順次受入準備を進める。

また、半年前イベント、3カ月前イベント、本番でのサイドイベント等、市民参加型のPRイベントの開催に加え、各種啓発グッズの配布や「おかやまESDナビ」サイトを活用した情報発信に取り組む。



人権フェスティバルでESDをPR

## 市民ネット



モニター参加者のワークショップ

### モニター家庭で

### 生ごみ組成調査を実施

**問** ①食品ロス削減についてのモニター調査の成果と課題は。

②今後の取り組みと生ごみ削減の見込みは。

**答** ①調査結果では、生ごみのうち食べ残しや手つかず食品といったロスが12%。手つかず食品のうち、消費・賞味期限切れ前のものが3割を占めていた。モニター家庭では、現状や課題を認識し、意見交換を行ったことにより、生ごみの量を減らすことができた。

②食品ロス削減教育プログラムを作成し、各種団体などに啓発していく。また、ごみ処理基本計画で平成37年度までに生ご

みを約10%削減する目標を掲げている。

### 市民協働を進めるためにESD 市民活動推進センターを設置

**問** センターとはどのようなものか。併せて、場の整備も必要では。

**答** ESDに関するユネスコ世界会議を契機に市民活動を広げていくために設置を考えているもので、「持続可能な岡山市づくりを市民参画で進めていくためのワークショップ」や「市民協働での課題解決ワークショップ」の開催、ESD活動推進ボランティアコーディネーターの養成などに取り組む。ハード面

(注) おかやまESDナビ  
<http://www.okayama-tbox.jp/esd/>

／用語解説 ※3 【ストップ・ザ学校問題－学びの場充実事業－】

不登校や問題行動など、学校が抱えている課題の未然防止や早期解決を図るとともに、子どもが落ち着いて授業を受けられる学級環境づくりを進め、学ぶ意欲の向上と問題行動等の減少を図るもので5つの事業からなる

の整備は今後の課題としたい。

**障がい児支援の体制を整備**

**問** ①平成26年度に改訂される第4期岡山市障害者福祉計画に、障がい児施策は反映されるのか。

②児童発達支援センターの配置等の検討は。

**答** ①障がい児支援についても、体制整備の方向性等について計画を策定するので、担当部局等

で連携しながら記載する内容を検討していく。

②計画を策定する中で検討し、必要に応じて専門家の意見も聞いていく。

## 明政クラブ

**水圧エネルギーを利用し環境に配慮した水道事業**

**問** 小水力発電事業の概要と今後の展望は。

**答** 岡山県広域水道企業団と共同で、企業団から本市の西大寺配水池へ受水する管路に設備を整備し、年間発電量約51万4,000キロワットアワー（一般家庭約140世帯分の年間使用量に相当）を発電する。

平成26年度中に建設工事を完了し、27年度から供用開始を予定しており、発電した電力は売電する。本市の一番大きな受水施設を利用するため、水量や水圧が大きく、黒字が見込める。

今後も資源循環型事業の推進に取り組み、水を育む豊かな自

然環境を後世に継承していく努力を続けていく。

**岡山駅東口にデッキ構想**

**問** 路面電車の駅前乗り入れを検討する際に、駅前デッキ構想も調査・検討しては。

**答** 路面電車の駅前乗り入れは、中心市街地の回遊性向上と活性化につながると考えている。駅の東西通路から路面電車の停留所に行くことができる駅前デッキ構想も検討すべき案の一つになると考えている。

**岡山駅西口側の駐輪容量を拡大**

**問** 岡山駅西口地下駐輪場は利用が多く、朝のピーク時にはなかなか外に出られないと聞く。駐輪場を拡大する必要があるのでは。

**答** 通勤・通学のための自転車が出口に集中し、地上に出るまで10分以上かかる場合がある。このため、西口側の駐輪容量を拡大する必要があり、既存の市営駅元北駐車場に駐輪場を併設することとし、平成26年度に測量設計を行う。



混雑する岡山駅西口地下駐輪場

## 絆



**※4 共に成長し合う学級集団づくり推進事業をモデル校で実施**

**問** 成果と課題は。

**答** モデル校で2年間実施した成果として、学級に満足してい

るよう見える児童でも内面では大きな不安や不満を抱えていることや、見立てと異なり学級の仲間づくりが進んでいないことなどが分かることで、教員が個別の相談や学級活動を工夫できている。こうした取り組みにより学級への満足感や適応感が改善されることで、不登校、いじめ、暴力行為のいずれも平成25年度は減少している。

全市に事業を広めるには、調査結果を活用する教員の能力の

育成が課題である。

**吉備線のLRT化費用負担などの課題を整理**

**問** 取り組み状況と今後の予定は。

**答** J R西日本、総社市と共に、実務的・技術的検討を進めてきた間に、吉備線沿線地区や商工会議所等からLRT化の早期実現に関する要望書が提出され、平成26年2月には、沿線すべての連合町内会長からも要望があった。

今後は、技術的課題に加え、費用負担や運営主体などについても課題を整理し、26年度中には、議論のたたき台となる計画素案を示したい。

**用語解説 ※4 【共に成長し合う学級集団づくり推進事業】**

全小・中学校で児童・生徒に学級生活での適応感や満足感を測るアンケート調査を実施し、その結果を踏まえてより良い集団づくりに取り組むもの